講義科目 :ドイツ語 I (70期生)	単位数 :2
担当 :独語 I (69・68期生)	学習形態 :選択必修科目
:竹添 敦子	

講義の内容・方法および到達目標

- ・平易な初級文法の範囲内で会話練習と反復繰り返しに徹し、確実な基礎力をつけます。
- ・ドイツ事情、風習、地理歴史などを紹介し、ドイツ文化の一端に触れます。
- ・ドイツ語はローマ字読みができれば発音できます。学び始めが楽なことばです。そこで、まず、発音がきちんとできるようになることをめざします。その後、初歩のドイツ語を使った自己プレゼンテーション、コミュニケーションの力をつけます。

授業計画

第1回	ドイツ語圏の話・文字の発音	第16回	前期の復習・確認
第2回	ドイツ語発音の基礎	第17回	何をするのが好き？（否定の表現）
第3回	ドイツ語で挨拶（慣用表現）	第18回	応用練習（時間を表す前置詞）
第4回	応用練習（自己紹介）	第19回	応用練習（いつ〇〇しますか？）
第5回	どちらのご出身？（動詞）	第20回	ドイツ語では何と言うのでしょうか？
第6回	国名・科目名で練習	第21回	さまざまな名詞（性・数・格）
第7回	応用練習（1人称・2人称）	第22回	応用練習（名詞の覚え方、辞書で確認）
第8回	仕事は何ですか？（疑問詞）	第23回	何を食べますか？（冠詞）
第9回	職業名で練習（3人称）	第24回	応用練習（否定冠詞）
第10回	応用練習（主語を変えてみる）	第25回	レストランで注文（möchteの練習）
第11回	会話で練習（決定疑問）	第26回	メニューを読む（数えられない名詞）
第12回	「～です」の表現（sein動詞）	第27回	ドイツのクリスマス
第13回	時刻表現（esを用いて）	第28回	私の家族（所有表現）
第14回	さまざまな動詞	第29回	応用練習（彼の、彼女の、あなたの）
第15回	応用練習（語順）	第30回	応用練習（自己プレゼンテーション）

教材・テキスト・参考文献等

- ・テキスト 川上博子・Imke Lenz『トントン・ドイツ語』（朝日出版社）
- ・辞書 講義冒頭で説明します。新たに購入する場合は『新アクセス独和辞典 第四版』（三修社）が手ごろです。電子辞書は初学者には不向きです。

成績評価方法

- ・参加型授業のため出席を重視します。年間3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象外とします。
- ・前期、後期の定期試験（50%）、出席・提出物等受講状況（50%）を基準に判断します。